

にっせんかい

# 日扇会ニュース



vol.38

2016年

地域の皆様と日扇会の意見交換・情報提供のための紙面です



石の地藏さんに一輪の椿の花（鎌倉・長谷寺にて）

## 神経内科のご案内

当院は消化器・肝臓・循環器等の内科主体の病院ですが、ほかに予約制の専門外来を併設しております。その1つに「神経内科」があります。毎週 火曜日の9時～12時を診療時間とさせて頂いておりますが、頭痛、めまい、手足のしびれ、手足のふるえ、物忘れなどでお悩みの方が来院されております。認知機能検査も行っておりますので、気になる方は予約をお勧めいたします。予約は、外来受付（3718-7281）にお問い合わせください。



## 「花粉症」 ～セルフケアとメディカルケア～

2015年10月より当院に勤務しております櫻町と申します。呼吸器・アレルギー分野を中心に診療させて頂いております。

そこで今回は、アレルギー疾患の一つである「花粉症」について、お話ししたいと思います。

今年、東京では2月13日にスギ花粉の飛散が観察されました。毎年花粉症に悩む患者さんは増え続けており、いまや国民の4人に1人は花粉症になるといわれています（2008年全国疫学調査）。

花粉症とは、鼻や眼に侵入した花粉が、粘膜にある特異的抗体（簡単にいうと、外部からの侵入者に対抗する体内の兵隊です）と反応をおこし、くしゃみ、鼻水、鼻づまりや、目のかゆみ、充血等を起こす病気です。

花粉症のこうした症状をおさえるためには、

1. セルフケアで花粉との接触をできるだけ回避する（侵入者を減らす）こと
2. メディカルケアで花粉に対する、特異的抗体の過敏反応を抑えることが有効です。

### 1. セルフケア（ご自分での対処）

花粉との接触をできるだけ回避するには、以下のような心がけ、対策が大切です。

- ① 毎日の花粉情報に注意する（新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等）
- ② 飛散が多いときはなるべく外出を控える
- ③ 飛散が多いときは窓、戸を閉めておく
- ④ 飛散が多いときは外出時にマスク、メガネ、



常勤医師  
さくらまち あきら  
櫻町 麗

帽子を着用する

- ⑤ 花粉の付着を抑えるため、表面がけげげした素材（毛織物など）のコートの使用は避ける
- ⑥ 帰宅時、玄関先で衣服をよく払い、洗顔・うがいをし、鼻をかんで花粉を取り払う
- ⑦ 室内の掃除を励行する

### 2. メディカルケア（病院等での対処）

抗体との反応を抑えるためには、医療上の措置が必要です。具体的には、

- ① 薬物療法：内服薬、点鼻薬、点眼薬
- ② 特異的減感作療法
- ③ 手術療法 があります。

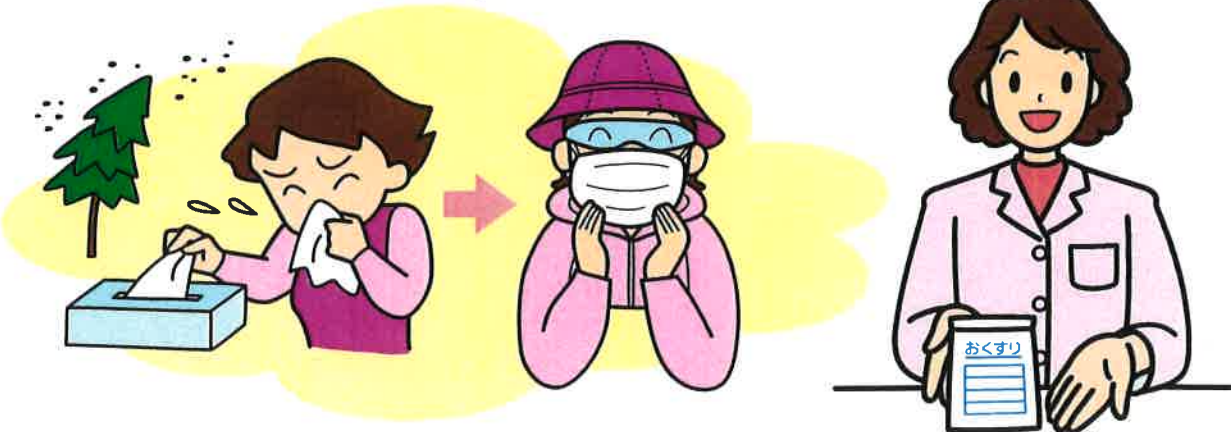
薬物療法には、色々な種類、強さの抗アレルギー剤があります。市販薬もありますが、他の薬も服用されている方は、その相互作用や、副作用も考えられますので、一度診察をうけていただくことをお勧めします。

減感作療法・手術療法については、より専門的な治療となり、入院が必要な場合もありますので、アレルギー科のある病院や耳鼻咽喉科を受診しましょう。当院では、そのご紹介もいたします。

今年花粉飛散量は平年並か、やや多いと予想されており、飛散期間は3月をピークとして4月上旬まで続くようです。

メディカルケアの面で、皆様が今年花粉症シーズンを乗り切る一助になればと思っておりますので、お気軽にご相談ください。

なお当院は、花粉症に限らず内科全般について、患者さんの病状にあわせた医療をご提供できるよう、日々心がけております。少しでも気になることがあれば、ご相談いただきますよう、今後ともよろしく願い申し上げます。



## 在宅での医療・ケア（訪問診療）の準備をはじめませんか

地域連携室 じつかわ 実川 司

当院にご通院頂いている患者さんから「最近、通院するのが辛くなってきた」、「検査や診察での待ち時間が辛く感じるようになってきた」～という声をよく耳にします。ご高齢になり体力的にご通院が難しくなるケースもごございますし、突然の疾患により入院となり、退院したものの通院するのが難しいというケースなど状況は様々です。こうした方々のために、国が整備を強化しているのが「訪問診療」です。今回はこれをテーマにしました。

昔の「往診」とは違う制度です。以前の「往診」は、患者さんの容体が悪くなった時に求めに応じて医師が駆けつけるものですが、この「訪問診療」というのは、患者さんの容体が悪くならないように、ご自宅で居ながらにして計画的に医師から診断・治療を受ける制度です。そのため、患者さんの容体が安定していても定期的に医師が訪問して健康管理をしていく仕組みです。つまり、今まで病院に定期通院されていたように、今度はご自宅で定期的に健康管理ができる仕組みなのです。

ただ、「訪問診療」はどなたでもご利用になれる制度ではなく、原則として「通院が困難な方」を対象としています。ですが、本当に通院が困難になってから検討したのでは遅くなってしまう場合があります。ご心配な方は今から「訪問診療」について検討されることは、とても大切なことだと考えています。

「訪問診療」については、既に様々なお問合せがございますが、この制度をご検討されるうえで参考になる例をいくつかご紹介致します。

### 「訪問診療」

とは、医師が患者さんのお宅に伺って診察をする制度です。すると、「それなら昔だって先生に電話すれば治療に来てくれたよ」と思われる方も多いと思いますが、いわゆ



### 訪問診療に関するご質問

### 回 答

24 時間いつでも対応してくれるのですか。

24時間対応致します。  
病状に応じて、緊急往診、看護師訪問、病院への救急搬送、経過観察など適切な対応を致します。

同居している家族も診察してもらえるのですか？

訪問時に同居のご家族の体調が急変したような場合を除き、基本は訪問診療をご利用の患者さん本人のみの診察となります。

訪問当日は誰かが付き添っていないといけないのですか？

おひとり暮らしの場合でも訪問診療を行うことが出来ます。訪問の際には、前回訪問時からお身体の変化や、お薬の服用状況、便通の状況などを確認させて頂けると、診察の際に大変参考になりますので、お付き添いが可能な場合には、是非ご協力をお願い致します。  
治療の過程を見ることが、ご家族の安心にもつながると思います。

デイサービスにも訪問診療に来てくれるのですか？

患者さんの居宅（普段住まわれている場所）への訪問診療と定められておりますので、ご自宅もしくは老人ホーム等への訪問となります。  
デイサービスへの訪問診療は出来ません。

訪問診療に関するご質問	回 答
<p>かかりつけ医が他院の場合には、日扇会では訪問診療をしてくれないのですか？</p>	<p>そのようなことはございません。その（他）病院と連携し、訪問診療が行えるよう調整を致します。</p>
<p>現在他病院に入院中ですが退院後、日扇会の訪問診療でその治療を継続してもらえますか？</p>	<p>下記のような治療行為は訪問診療でも可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経管栄養、胃ろう、腸ろうからの栄養管理</li> <li>・ 中心静脈栄養法</li> <li>・ 点滴管理</li> <li>・ 在宅酸素療法、在宅人工呼吸器</li> <li>・ 褥瘡（床ずれ）の治療</li> <li>・ 尿道カテーテル、膀胱ろう</li> <li>・ 末期癌の疼痛・点滴管理</li> <li>・ 筋力低下や麻痺等によるリハビリ</li> </ul> <p>治療機器の小型化に伴い、今までは病院でしか行えなかった検査が出来るようになってきました。例えば、血液検査、尿検査、各種培養検査のほか、心電図検査や超音波検査などもご自宅に対応可能です。</p>
<p>日扇会で訪問診療をはじめると、今まで診てもらっていた病院では見えてくなくなるのですか？</p>	<p>そのようなことはございません。訪問診療で対応できない検査や診療などは、今まで診てもらっていた病院と連携して対応可能です。</p>

今までイメージされていた在宅への診療の仕組みとは違うなどお感じになられたのではないのでしょうか。

訪問診療は、住み慣れた地域やお住まいで安心して治療を受けられるようにするために、設けられた制度です。今年（2016年）度に予定されている医療改定でも、より安心のできる充実した「訪問診療」制度に整備される見通しです。



◆ 訪問診療を含む在宅における医療・ケアのご案内

【ご相談の流れ】 以下にお電話頂き、ご予約下さい。

- ①ご希望の日時をご予約下さい。
- ②ご希望の相談場所をお伝え下さい。

（A：当院にご来院時に相談。B：スタッフがご自宅を訪問して相談）

◆ ご予約やお問い合わせは…

日扇会第一病院 地域連携室 電話) 03-3718-7291  
 (受付時間：平日 9：00～17：00 / 土曜日 9：00～12：00)



## バリウム検査のご案内

診療放射線技師 守谷 安弘

皆さんは、当院でもバリウム検査を受けられることをご存じでしょうか？

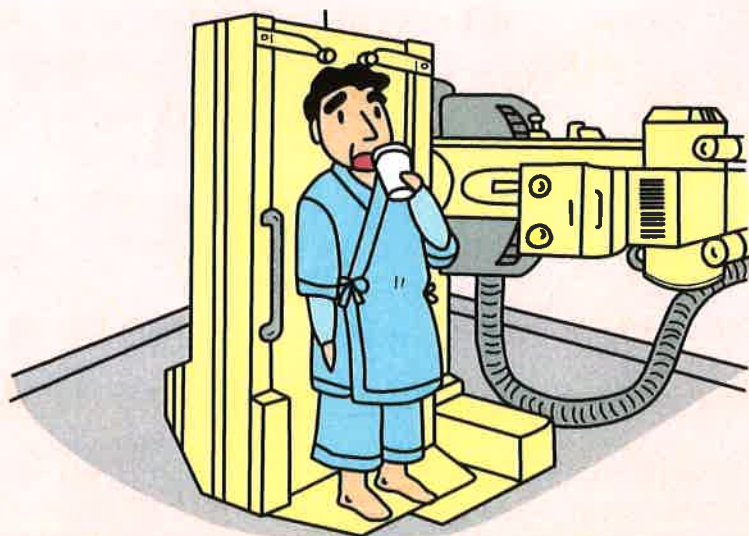
私は当院で胃のX線検査に従事している診療放射線技師の守谷と申します。近年は胃カメラの検査を選択される方が多く、バリウム検査がすっかり昔の検査のような印象を持たれる方もいらっしゃるかもしれません。飲み物とは思えない白い飲み物をコップいっぱいに飲まされ、お腹を膨らませた上にゲップはしてはダメとの無理難題…。さらには台の上で目が回るほど回転させられるキツイ検査かもしれません。

しかし我が国の医療指針では、胃がんの一次検診では問診、胃X線検査が勧められています。バリウム検査はちゃんと今も存在し、時代とともに、その検査方法は進化を遂げて今日に至

っています。

検査の性質上、バリウムが苦手な方や体力に不安のある方等もいらっしゃるかもしれませんが、当院では患者さんお一人お一人に合わせた検査を心掛けておりますので、ご安心ください。撮影に関しましては、胃がん検診のガイドライン撮影に沿った撮影を実施しております。

今ならお受けになる方限定で、「検査を受けるコツ」をそっとお教えします。人間ドック、胃がん検診等、いつでも対応できるようバリウムをシェイクしてお待ちしております。どうかお気軽にバリウム検査を とお声をかけてください。



### 皆様からのご意見 (27年11月～28年2月・ご意見箱投函分)

#### ご意見 (要旨)

#### 当病院の考え・対応

病棟

病室内での現金の管理には限界があるので、セーフティーボックスの設置をお願いしたい。

入院案内で「貴重品の持ち込みは、ご遠慮ください」としてありますが、万已むを得ない事情がある場合は、1階「受付」にご相談ください。

全体

タバコを吸われる職員がおられることは分かりますが、その臭いが気になります。何とかならないでしょうか。

喫煙に関するご指摘は他にもございました。検討の結果、平成28年4月から病院敷地内での喫煙は全面禁止することにいたしました。ご迷惑をおかけいたしましたことを、お詫び申し上げます。

受付

受付の時間がかかりすぎる、書類の字が乱暴、大事な封書に封をしていなかった、などのご指摘をいただきました。

接客マナーや事務処理等について、引き続き教育しておりますが、ご指摘を機に更に精度を上げるよう努力して参る所存です。ご指摘ありがとうございました。

いんない

## 院内リレー



## 後悔しない人生

訪問看護ステーション所長 鈴木沙恵子



「人生はあっという間に終わってしまうんだよ。後悔しないために毎日努力を続けなさい。」

90代男性Kさん。元職業デザイナー。その方の終末期に私に頂いた言葉です。

Kさんはそう言いながら、笑顔で私の首にスカーフを巻いてくれました。

どの色が合うかコーディネートするその表情はとても真剣で、Kさんであり続けるその姿勢に胸が熱くなりました。



この場でご進物は頂けないことを伝えることはとてもできず、私は「ありがとうございました。」と心からお礼を申し上げました。

— 相手の目を見て相手の気持ちを受けとめること。丁寧にお辞儀をすること。感謝すること。頂いた笑顔にもっと大きな笑顔で、お返しするとその場の空気が変わること —

在宅の現場で仕事をしている私は、人生の大先輩方にたくさんのことを学ばせて頂いております。

患者さんが医療者に世話になっていると感じるのではなく、患者さんが辛い時や苦しい時には、たくさんの方が自分を支えてくれるんだ、と思える環境を提供することが私たち在宅医療の仕事だと感じています。

これからも私のありがとうの気持ちは、心からのありがとうだと伝わるように、ひとつひとつ丁寧にケアを行っていきたいと思います。

私は自分の人生の最期において、Kさんのように前向きで、真っ直ぐ誠実な言葉を（誰かに）残せるだろうか？

その時、私が看護師を続けてきたことが自分の証となるように、今日も、明日も努力を続けていきたい、と思っております。



## 編集発行人

医療法人財団 日扇会

〒152-0031

目黒区中根2-10-20

TEL: 03-3718-7281 (代表)

FAX: 03-3718-7736

ホームページアドレス:

<http://www.nissenkai.or.jp/>

季刊紙 発行日: 2月29日

理念 医療は患者さんのために存在する

使命 患者さんの「かかりつけ医」として地域医療に貢献します

## 基本方針

1. 私たちは、患者さんの権利と人格を尊重した医療を行います
2. 私たちは、プロとしての責任と誇りをもって自己研鑽に励みます
3. 私たちは、病院全体の力を結集して患者さんを支えます
4. 私たちは、信頼される医療を継続するため徹底したリスク管理を行います
5. 私たちは、全職員が思いやりとやりがいを持って医療を行う活気ある病院を作ります
6. 私たちは、担うべき役割を将来とも継続的に果たすため、安定した経営を維持します

